

## 令和6年度 第2回 技術研修会 プログラム

- 1 日時 令和6年7月26日(金)
- 2 場所 北九州市立男女共同参画センター『ムーブ』5F小セミナールーム
- 3 受付 13:45より
- 4 研修 14:00～15:20

### 【第1部】 水道管路における水理設計について

研修時間：14:00～15:10(質疑応答含む)

講師：日本ダクタイル鉄管協会 吉村 充基

蛇口から水が出るには圧力が必要です。水が管の中を流れる距離が長くなると摩擦などによる抵抗力が大きくなり、蛇口での圧力が不足します。

したがって水を送る高低差、距離、流量などから適切な管径を事前に計算して必要圧力が得られるか確認することが求められます。これを水理設計といいます。

本講義では水理設計時に必要となる上記の理論や各種対策方法について概説します。

- ① 水理設計の概要
- ② 水理公式
- ③ 管径の算定
- ④ 管網解析
- ⑤ 水撃圧
- ⑥ ダクタイル鉄管の概要

【休憩】 15:10～15:20

### 【第2部】 ダクタイル鉄管の管路設計について

研修時間：15:20～16:50(質疑応答含む)

講師：日本ダクタイル鉄管協会 吉村 充基

ダクタイル鉄管には多様な接合形式が幅広い口径で規格化されており、上下水道だけでなく、農業・工業用水道管路として日本全国の事業者様でご採用いただいております。

特に、耐震継手ダクタイル鉄管は、これまでの地震や豪雨等の災害でもその性能を十分に発揮しています。本講義ではダクタイル鉄管の耐震性・耐災害性の機能を十分に発揮できるような管路の設計方法について、特に管厚計算や異形管防護などについて解説します。

- ① 管厚計算
- ② 異形管防護
- ③ 付属設備
- ④ 軟弱地盤対策
- ⑤ 配管設計上の留意点
- ⑥ 管路諸元と管割図の作成手順